

3-2 鉄道

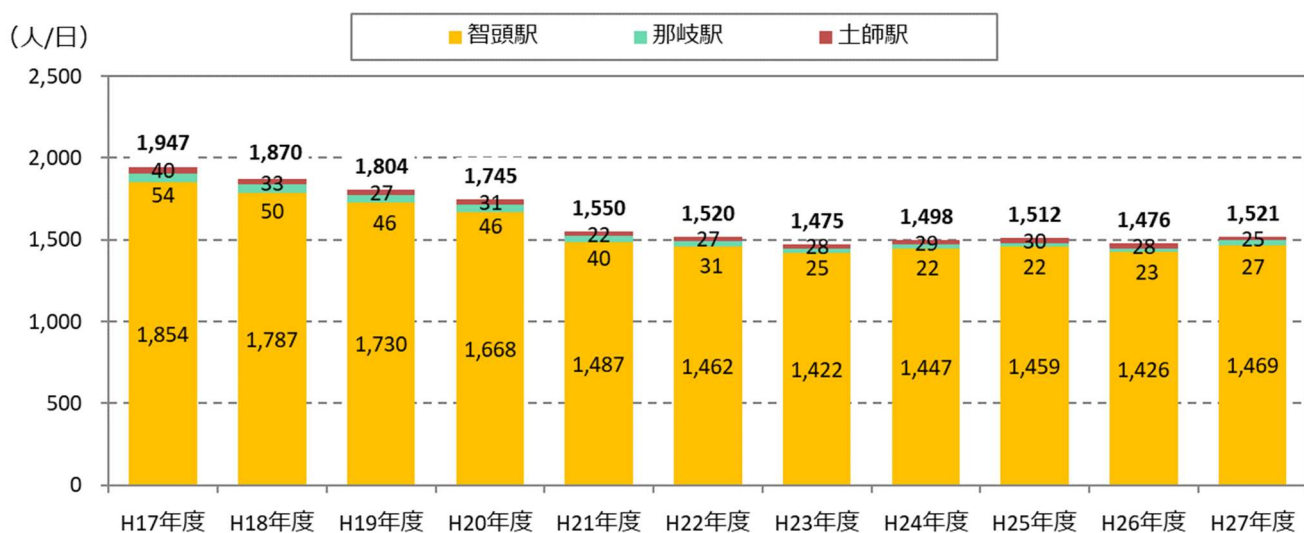
(1) JR 因美線

- 路線の区間は鳥取市の鳥取駅から岡山県津山市の東津山駅までであり、町内には智頭駅、那岐駅、土師駅の3駅があります。
- 一日あたりの利用者数は、町内3駅の合計で1,521人（平成27年度）となっており、近年は横ばいが続いています。なお、智頭駅の利用者数が1日あたり1,500人前後であるのに対して、那岐駅と土師駅は20～30人程度と少なくなっています。
- 智頭駅から鳥取駅までの所要時間は普通列車で約50分、運賃は590円（自由席特急料金760円）であり、朝夕には鳥取市への通勤や、八頭町からの高校生の通学にも利用されています。
- 券種別利用者数をみると、少子化の影響により通学定期の利用者が減少しています。
- 昭和7年に開業した那岐駅舎は現在無人駅となっており、地元の団体が借り受け、展示やミニコンサートなどにも利用されています。改修された旧宿直室は、週2日「那岐駅舎森のミニデイ」の拠点として、那岐地区内に住む高齢者の集いの場となっています。

図表 13 JR 因美線の運行概要

運行主体	西日本旅客鉄道（株）
主な区間の運賃	智頭～鳥取 590円（自由席特急料金760円） 智頭～河原 330円 智頭～用瀬 240円
智頭駅発の運行本数	鳥取方面：11本 ※特急列車を含めると24本 津山方面：8本
運行時間帯（平日）	鳥取方面：始発6時19分、終発22時14分 津山方面：始発6時20分、終発20時57分

図表 14 駅別一日平均乗降人員（JR 因美線）



資料：西日本旅客鉄道（株）